

成績不振者は勉強部屋にこもって勉強しているが、実は集中して勉強する時間がとても短いケースが多いことが判明。そこで食卓など、保護者の目の届く場所で1日30分でも勉強するようにしてもらったところ、確実に定期テストの点数があがった。(北海道)

授業の予習・復習の方法がわからないという生徒が意外に多い。このため、予習と復習にかける時間の目安、ノートの作り方などを具体的に指示する。1学年の4月に、この習慣をつけさせると、その後自然とできるようになる。(神奈川県)



テストで成績優秀だったり、前回と比べて成績が伸びた生徒に勉強のコツなどを話してもらい、クラス全員でシェアする。(静岡県)



教室を自習しやすい環境に整える。例えば問題集や辞書類をそろえ、問題を教室に掲示。これにより、教室に残って勉強する生徒が増えた。個人的には「家庭学習」は不要だと思う。勉強は学校でやり、家庭では家庭でしかできないことをしてほしい。(東京都)



宿題プリントを出し、採点、添削してファイルに閉じる。成果物が手元に蓄積されるため、やりがいを感じる生徒もいた。(兵庫県)



適度な宿題を出す。ありふれているが、授業の最後に「もう少し学びたい」と感じさせ、それと関連づけた宿題にすれば効果は大きい。授業の質は自主的な学習意欲に大きく影響する。(茨城県)



定期テスト前は学習計画表を作成させ、担任がコメントを書いて返却。テスト終了後は点数を記入する。生徒のモチベーションが上がり、家庭学習時間がおおむね増えた。(埼玉県)



進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：自学自習の意欲を高める工夫

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載りきらなかったヒントも掲載
キャリアガイダンス.net > 「進路指導、私の工夫」をチェック!